

朝の館内放送

令和2年4月20日

みなさん、おはようございます。

西尾市長の中村健です。

緊急事態宣言の対象が全国に広がり、現在のところ、宣言自体は5月6日までとなっておりますが、社会全体が平時の状態を取り戻すには、まだまだ時間がかかりそうです。

新型コロナウイルスの感染が拡大する中、その対応として、職員のみなさんにとっても、一人ひとりが困難に向き合いながら仕事をしていただけていることと思います。

この場を借りて、感謝申し上げます。

ありがとうございます。

市長として、みなさんをお願いしたいのは、精神的な不安や経済的な苦難を抱える市民に寄り添い、そうした人たちの立場になって、今何が必要とされているのか、自分に何ができるのかを考えてほしいということです。

自分が事業を営んでいて、不可抗力的な理由によって、売り上げが7割も8割も落ちたら、どう思いますか。

自分の配偶者が、仕事が急激に減ったことにより、勤務先から解雇されてしまったら、

どう思いますか。

市の財政も大事ですし、行政が施策を立案していく上での論理も大事です。

しかし、一番大事なことは、市民の命、健康、生活を守ること、もっとシンプルに言えば、困っている人を助けたいという思いのほうです。

平時と有事とでは、求められる対応のスピード感が大きく変わってきます。

今こそ、西尾市が一つになって、この難局を乗り越えていかなければなりません。

みなさんの知恵と力が必要です。

よろしくお願いします。